

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	話し合いの時間が取れていない。 共通理解ができていない。	管理者・職員の話し合いの場、意見交換の時間をつくり、雰囲気の良い施設づくりをしていく。	月一度のカンファレンスを行う。 トラブル等が起きた際は、その都度、話し合いの場をつくり、早期の対処に努める。 ユニットの交流、合同の話し合いの場をつくる。	3ヶ月
2	38	・居室にこもりがちだったり、何をしたらいいのかかわからず、不安になってしまう方がいる。 ・居室で寝て過ごされる方が多い。	・一人ひとりの好きな事、出来る事を見つけ、日々のその人らしい生き方を支援していく。 ・一人ひとりのペースを大切にし、その日をどう過ごしたいか、希望にそって支援する。	・日々の会話や今までの生活歴等から、その人の好きな事又、出来る事を見つけ出し、その人が輝ける場面をつくる。レク活動(体操・折り紙・制作など)や手伝い等(園芸・裁縫・料理など)無理はしない。 ・ADLの維持向上を目指して個々に配慮し、職員が理解し、選択出来る場面をつくる。リハビリ・ラジオ体操・ぬり絵等の充実を図る。	2～6ヶ月
3	49	外出する機会が減ってきている。 人員不足なども原因のひとつ。	外出する機会を増やし、気分転換をしたり、外部との交流の場を増やしていく。	職員が知っている公園や見学施設など、意見を出し合い、利用者が楽しめるような場所へ行く。(計画を立てる。) 係の買い物の際、一緒に付き合ってください。	3ヶ月
4		入居者同士の関係の支援をどのようにしていくか。	一人ひとりが孤立することなく、関わり、支え合えるような支援に努める。	日々の会話や表情から心身状態などを把握し、職員全員で記録等の共有をして支援する。	6～12ヶ月
5	2	地域住民との関わり	今以上にこの施設を知っていただく。	夏祭りやクリスマス会などの行事に声掛けし、一緒に参加して頂くよう促してみる。	9ヶ月

6	18	本人と共に過ごし、支え合う関係。職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人のこれまでの生活歴や意向を尊重した支援をする。	本人が「大切にしてきたこと(趣味や嗜好)」「生き方」「価値観」などを活かした支援をしていく。	3～6ヶ月
7	19	本人を共に支えあう家族との関係。職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員のためのケアでなく、ご家族様にも共に支えている一員であることをお願いしている。	ご家族様参加型の外出レクやホームでの行事にも積極的に参加して頂く。	6～12ヶ月
8	25 26	入居者様全員の介護計画(ニーズ)の把握が出来ていない。	入居者様一人ひとりが安心して暮らして頂けるように、ニーズを把握し、個人の介護計画を基に、本人本位のケアの実践に努める。	職員全員が入居者様全員の介護計画に目を通し、ニーズの把握をする。	6ヶ月
9	27	介護計画が把握できていない為、計画に基づいた記入がされていない。	個別の記録や介護記録については介護計画に基づいた記入を行うと共に、気づいた事柄は実践へ反映できるように迅速に記入する。	日々の個人の介護計画の記録が計画に基づいた記入となるよう取り組み、本人の日々の生活が分りやすく表現され、他の方が見て理解出来るものにする。	6ヶ月
10	52 53 54	掃除において、見えづらい、すみずみまで、なかなかできない。	入居者様が不快にならないように、清潔で居心地の良い空間づくり。	自分の担当者居室の掃除・整理を月一度は必ず行う。	3ヶ月
11	48	個々に合ったお手伝いをして頂いているが、職員の都合で行えない事がある。	一人ひとりを理解して、張り合いや喜びが持てるように支援する。	個々に合ったお手伝いや、楽しみ事を見つけ、職員も一緒に行い、喜びが持てる様に方向付けをしていく。	3～6ヶ月
12		役割、楽しみごとの支援。いつもと違う楽しみを見つける。	日々の生活の中で張り合いや喜びを持って過ごして頂けるよう、楽しい暮らしや気分転換が図られるような支援を提供していく。	入居者様と共に楽しみを見つけ、例えば一緒に花や野菜を植え、成長や収穫を得て共に喜びを分かち合う。	6～12ヶ月

13	入浴を楽しむ事ができる支援。	入居者様から入浴を希望される様な心地良い入浴介助を目指す。	楽しい会話や心地良い洗身・洗髪・入浴後の爪切り・すみやかな着替え等を心掛けていく。	1～3ヶ月
14	食事を楽しむ事のできる支援。 肉の苦手な入居者様への配慮。	得意料理を増やす。	入居者様と一緒に作った野菜を使って料理を提供していく。	6～12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。